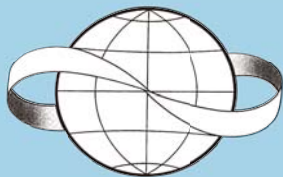


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第78号

商標登録第 4882482 号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18
TEL : 042 - 395 - 9788
FAX : 042 - 395 - 9787



「コロナ禍に苦しむ 資源回収事業の実状」

新型コロナウイルスの影響は、全世界で多大な感染者や犠牲者を数え、未だ終息の目途もたない状況にあります。

さらに各業界の経営崩壊の危機も現実化してきました。前号でも記述しましたが、私たちが携わっている資源回収や再資源化の仕事でも、現場での危機感が日増しに高まっており、

◎回収・再資源化作業の内容は

回収作業には色々な対策を行っています。マスク・ゴム引き手袋・安全靴・長袖作業着と、車内の換気徹底や消毒液噴霧などを実施しています。これは熱中症対策とは真逆の対策になります。

さらに各家庭より排出される資源物は、回収した後に全て手選別で分別し品質管理を致します。

その後品目品質別にプレス加工をして保存し、再利用してくれるユーザーに出荷・搬送する作業までが資源業者の仕事になります。

◎作業中の危険度は

古紙や古布・ペットボトル・びん缶類などの回収資源化は、感染者と直接接する率も高く、付着した菌は二四時間以上感染の危険性を保つとも言われています。

公営焼却施設に投棄処理する可燃ごみ収集に比して、ウイルスとの接触率は数倍にもなります。

◎古紙回収の非常事態も継続中

古紙の市況は、前号でもお話しした通り、中国の輸入規制や米中の貿易摩擦の影響で、昨年秋季ごろから悪化しています。また、今年いっぱい中国への輸出は停止になる予定で、先行きが不透明になっています。加えてコロナ騒動で全ての物流が異常事態になって、再生資源物の再利用度は今後益々不透明になります。

◎地産地消のリサイクルシステムを守るか

再生資源回収は、回収車両とその乗車作業員を確保すれば出来る事業ではありません。先ず製紙会社などの納入先と納入量を確保しなければ処理できません。

長い取引によって、安心して利用して貰える品質と安定した数量を納入して得られる権利です。

その為には、品質を守る徹底した分別作業・プレス加工施設の確保・プレスした製品をストックする広いヤード等も必要になります。

東多摩再資源化事業協同組合はこの三〇年間、地産地消のシステムを確立し、近隣五市の再生資源を守ってきました。

組合員が回収している五市の古紙古布は、販売店回収や事業所回収も合わせると年間約四万トあり、その再資源化を果たしています。

極力輸出は避けて、国内のユーザーに納入する権利も守り確保してきました。地元から一五〇名余りの人員雇用も担っています。

◎古紙古布類回収の現状は

今、可燃ごみの収集量と行政回収している古紙古布回収量を比較してみると、重量比では約四対一ですが、容量比では四対三と三倍になります。古紙古布回収は、四種類に分けて回収し嵩張るため、一車両には可燃ごみの三分の一も積み込めないのです。

ところが、古紙古布類の回収委託車台数は、可燃ごみ収集車の四分の一以下の所もあり、車両乗員増に赤字で厳しいやり繰りをしていくのが現状です。

市民団体と実施してきた集団回収事業も、古紙価格暴落で人件費が賄えない回収になった団体も多く、各市に対し業者に対する助成を強くお願いしています。

なお、市民の皆さんからは、コロナ禍にたくさんの激励の言葉や手紙を頂きました。回収作業員にとって何よりの活力となり感謝申し上げます。
(顧問 k)

リサイクル適性 (A)

直言拝聴

『ごみ問題との関わりについて』

東村山市廃棄物減量等推進審議会 委員
環境審議会 委員
美住リサイクルショップ 運営委員



上村 麻弓

●「ごみ問題との出会い」

私がごみ問題とかかわり始めたのは、一九九〇年代半ばの頃です。環境問題をテーマとして活動する生協の委員会や、食品添加物や原子力発電の問題などに取り組んでいたところ、ごみを燃やしたときに出るダイオキシンが問題になり、ごみ焼却施設の建設反対運動や埋め立て処分場が足りなくなるといふ問題が起きたからでした。ごみ問題は、他の公害問題と違って、自分たちの出したごみによ

って起きるため、ごみ焼却や埋め立てに反対するだけでなく、自分たちもごみを減らし、リサイクルを実践し、環境負荷の少ないごみ処理方法を調べて提案する活動に、私たちは多くのエネルギーを注ぎました。以来、二十年以上ごみ問題と関わってきて、現在は東村山市の美住リサイクルショップ運営委員会、廃棄物減量等推進審議会、環境審議会の委員をしています。

今回、この原稿を書くに当たって、なぜ私が環境問題やごみ問題にこれほど長く関わってきたのかを改めて考えてみました。直接的には、子どもたちに食べさせるものが本当に安全なのか、空気や水は安全なのか、という心配でした。二十年后、子どもたちが大人になる頃を想像したとき、本当に心配で胸がドキドキしたものでした。また、単純に、モノを捨てるのは

「もったいない」という思いもありました。ケチな話ですが、買ったものをどんどん捨てるのは、お金がもったいないので、持っているモノの再利用やリユース品の利用で節約したいから、というのもありました。こういった考えに、子育てのためにフルタイムの仕事をしていなかった自分自身の自由に使える時間、社会参加したいと

いう気持ちもありました。

こういった気持ちで取り組み始めたごみ問題ですが、続けてきた大きな要因は、捨てられそうなモノを工夫して再利用することや、課題を見つけてみんなで解決しようとするのがとても楽しかったからだと思います。

●「もったいない」という気持ち

ところで、市民運動によるリサイクル活動の原点は、牛乳パックのリサイクルです。

防水加工のため、捨てられていた牛乳パックを「再生紙として活用できれば、大きな資源となる。もったいない、何とか生かしたい。そして何より、物を大切に扱う心を伝えられないか（「はじめよう、これからの暮らしと社会 KOKOCARA」より引用）」と思い立った一人の女性が始めた運動がここまで広がったのです。

「もったいない」気持ちを原動力に、ごみの分別やリサイクルはすすみ、リユース品を使うのは今では当たり前のことになりました。●「もったいない」気持ちを活かすのはリサイクルではない

私たちが原動力にしてきた「もったいない」気持ちは、「手間をかけたリサイクル」につながる一面もあるのではないのでしょうか。「ペ

ットボトルは、洗ってキャップを外す」「容器包装プラスチックを洗って乾かす」など、「手間をかける」ことが、「私は頑張っているんだ」「資源になるのだから無駄にしているのではない」と捨てることの免罪符になってはいないでしょうか。このことは、「頑張らなければリサイクルできない」という状況を生んでいるような気がします。また、私たちの中にある「もったいない」という気持ちは、モノを捨てられなくて、家の中にモノがあふれたり、遺品整理が大変になったり、極端になると、ごみ屋敷になってしまふということにもつながります。

やましたひでこさんの提唱する「断捨離」がブームになり、美住リサイクルショップで行っている終活講座「物を持たなくらしのすすめ」の参加者



美住リサイクルショップ夢ハウス(上)と夢ハウスまつりの様子(右)

がとても多いことから、たくさんの方が、モノが捨てられず、あふれるモノに頭を悩まされていることがわかります。「もったいない」から捨てるのは「もったいない」から、本当に欲しいもの、長く使えるものだけを買う、と行動を変えていくことができたなら、家も心もすっきりするのではないかと思います。

●**経済とごみの関係**

新型コロナウイルスの影響で、「経済が回らない」「経済が大事」というフレーズを耳にするたびに、経済って何だろう？と考えてしまいます。

辞書には「物資の生産・流通・交換・分配とその消費・蓄積の全過程」とあります。簡単に言うと、「モノをつくって、売り、その儲けをみんなで分けて、モノを買うこと」でしょうか。つまり、たくさんモノが売れば、経済が回り、売れなければ回らない「大量生産・大量消費」を良しとするシステムです。大量消費の後には、当然、大量廃棄となってしまいます。だから、経済とごみ問題は対立的な関係となり、リサイクルやごみ減量も経済が回る範囲でしか進んでできません。

新型コロナウイルスの影響は、

世界中の経済がほぼ止まるという誰も想像できなかった事態を引き起こしました。感染症にかかるリスクよりも、経済が止まったことで倒産や失業に陥るリスクの方が高い、と訴える人もいましたが、やはり命が一番大事なので、多くの人は自粛し、多くの国が国民の生活保障を行いました。

しかし、別の側面も私たちに見せてくれました。テレワークによる在宅勤務が普及し、地元での消費が増え、不要な買物が減りました。在宅勤務は、都心に住むことのデメリットに気づかせ、郊外や地方で暮らす可能性を広げました。経済を回すために、企業がCMや流行によって作り出した需要は、実は、本当に私たちが欲しかったものではない、ということが炙り出されたような気がします。

今まで絶対にやらなければならぬと思っていた仕事や役割から解放されて、ちょっとホッとした人も多かったのではないのでしょうか。ホッとして過ごしていると、余計なもの欲しくなく、という気持ちにもなってきました。

「もったいない」という気持ちは、もしかしたら、この経済システムのの中で受けるストレスを、お手軽な消費で解消している心の隙

間から生まれるのではないかと思えてきました。

もしこのままの経済システムが続くならば、私たちにも生産性が求められ、役に立たない人は切り捨てられてしまうというストレスにさらされたままです。

ちよつと立ち止まって考えると、もしかしたら、モノの大量生産、大量消費に頼らない生き方も目の前には広がっているかもしれませぬ。ぼんやりと頭に浮かんでくるのは、「シェアリングエコノミー」「地産地消」「モノの消費からコストの消費へ」「小商売」「テレワーク」「地域通貨」「再生可能エネルギー」といったキーワードです。

●**持続可能な開発と「誰一人取り残さない」**

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」という原則を掲げています。地球温暖化という危機に直面し、ひとりひとりが生産性で価値付けられる経済システムから脱却しないと持続できなくなるというところに、世界の人々は気が付いたからでしょう。

今、東村山市では、「一般処理廃棄物処理基本計画」を作成中です。私も審議会委員として審議に参加していますが、その上位計画の第

五次総合計画では、基本構想に「わたしたちのSDGs」を掲げています。

私自身は、美住リサイクルショップ運営委員会の活動や市の検討会、審議会に参加してきましたが、長くかかわっていると、ただの市民であるということ忘れてしまいがちになります。「分別のルールを守らない人はダメだ」「リサイクルできることを教えてあげよう」といった感じですが、これでは、市民目線とはいえません。だれもが無理なくできることを提案していくこと、できないという人の声を市に伝えることが大事だと思っています。

市もルールを徹底するだけでなく、分別排出しやすい方法の検討や、負担の大きなルールの見直しなどを行ってきました。対立型の市民運動から協働による課題解決の時代になってきたことを実感しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コロナ禍における、新しい生活様式の過ごし方

皆さんは、緊急事態宣言下やコロナ禍での自粛生活をどう過ごしてしまっただか？ここでは、広報委員メンバーの過ごし方を紹介させて頂きます！

「私の自粛生活」

新しい生活様式の過ごし方

今年1月に前職を辞め、再就職までの時間は、すぐ近くに住む病気の母をサポートしつつ、今まで忙しくて会えていなかった友達と会うなど有意義に使うと思っていた矢先、新型コロナウイルスの話が出て見る見るうちに国内にも広がってしまいました、叶わなくなってしまう。世の中がどんどん変わっていく中、慌てて就職活動を始めましたが、なかなか結果が出ず焦っていたところで、有難くも当組合の事務局員に採用していただき今日に至っております。

そのあと間もなくして緊急事態宣言が発令され、自宅から職場・実家・スーパー・母の病院の行き来しなくなり、事務局内でも交代で在宅勤務になるなど、生活がガラリと変わりました。今ほどマスクや手指消毒が定着する前、マスクをつけ忘れてスーパーに行き、周りの人の目線で気付く…:とい

うこともありました。今ではマスクや手洗い・消毒などはもちろんのこと、友達との会話はZoomやLINEのビデオ通話を使ったリ、食べに行きたいお店はテイクアウトやデリバリーで利用したり、不自由ながらも新しい日常が定着してきたように思います。また、毎日死者数や感染者数の暗いニュースばかりで気が滅入り、ある時からせめて土日はニュースを見ないと決め、コロナのことを考えない時間を作るようにしました。普通の風邪すらひけない今、自分が心身ともに健康でいることが一番大切だと思い、自粛しながらも少しでも楽しめることを探すようにしています。

未だに収束の兆しすら見えず、漠然とした不安や不満は常にありますが、そういった中でも仕事が続けられ、今のところは自分も家族も普通に過ごしていることに感謝して、引き続き感染予防をしていきたいと思えます。

(事務局 高山あかね)

お家の過ごし方を快適に！

新型コロナウイルスの感染が徐々に広がっている二月末、業界の会合の最中に、安倍前首相の学校一斉休校要請のNEWSが飛び込んで来ました。思えばその日から自粛生活がスタートしました。

週の半分は家でご飯を食べない生活から、毎晩家にいる生活となり、そのうち妻から「コロナ離婚」を突き付けられるのではないかと心配しましたが、まだ捨てられずリユースして頂いております。

そんな自粛生活中、ガーデニングをしたり、お庭BBQをしたり、たまには全国各地の名産品をお取り寄せしてみたり、おうちで出来るエクササイズマシンを買ってみたり。中でもハマったのが、家のIoT化です。スマートスピーカーをポチりと購入したのがきっかけでした。当初、スマートスピーカーに対応している家電は、子供部屋のテレビだけで、居間のテレビに至っては他社のスマートスピーカーにしか対応していないことが判明しました。このことで私のIoT魂にエンジンがかかりました。

調べるうちに、スマートリモコンを入手すれば家中のリモコン付き家電のほとんどをスマート化出来る



『ただいま』で電気をつけたり、いつもの〇〇をネットで注文したり、いろいろ出来ます♪

ることが分かり、即購入、今ではテレビ、エアコン、照明はもちろん、扇風機、エクササイズマシンまで音声や遠隔で操作できるようになりました。それならば、こんなことできないかなという想像も膨らむようになり、調べてみたら、一つしかなくて不便していた車庫のリモコンをスマホで操作できる装置があることがわかり、これも導入しました。

今はまだ、ラジオや好きな音楽をかけてもらったり、天気やニュースを聞いたり、家電を操作するくらいしか活用できていませんが、スマートスピーカーのスキルはメーカーにより差はあるものの、数千個あるとも言われています。まだまだ知らない機能がたくさんあり、ワクワクします。これからは、私たちの仕事のIoT化にもつながるものがないか、試行錯誤してみたいと思います。

(TKO)

新しい生活様式の過ごし方

新型コロナウイルスの集団感染が発生した、大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」のニュースから始まり未だに収束が見えない中、私達の生活は大変な様変わりをしたと思います。今まで普通だった事ができなくなり、ソーシャルディスタンスや咳エチケット、三密など、聞いたことのない言葉を連日耳にするようになりました。ワクチンに期待するのは勿論ですが、現状では、一人一人が出来ることをするしかないと思います。

とはいえ、在宅での勤務は可能な職種ですので、マスクの着用・手洗い・消毒を徹底し規則正しい生活の中で免疫力をつけ「かからない」努力を続けていき、新しい生活様式いわゆるニューノーマルな生活を前向きに捉えながら、一日も早い収束を願うばかりです。

(日興紙業商事 若林)

かわい動画に癒されて



コロナ禍の中、行政回収を行っている折には市民の方と接する機会はありません。ただ顔を合わせた時には、

「暑くて大変ね、ご苦労さま」と声を掛けてくれますので、励みになります。

休日は買い物に近所のスーパーに行くぐらいで、もっぱら家でごしており、ユーチューブを見ます。その中で、トイプードルの虎太郎君の投稿が気に入っており、ワンちゃんの気持ちを人のセリフと表現しており、人間だったら、こんな言葉になるのかなと思いがら見えています。もう一つはモフモフふわふわ猫の動画で、名前は「こっちゃん」だと思いますが、よく見ており、かわいい動物の動画は気持ちが癒されます。

皆さんも同じだと思いますが、早く普通の生活に戻ってくださるよう願っています。(小畑)

コロナ禍の通勤を楽しく

私の自粛生活、新しい生活様式の過ごし方についてコラムを、といわれ「この業界、現場勤務だとあまり変わってないな」と考えていたら、ひとつだけ変えたことがあります。バイク通勤をするようになったことです。

バイクに乗らなくなつてからこれ何年、バイクにでも乗りたいなーなんて考えていた時、三密

を避けるためにバイク通勤が増えているというニュースを聞き、ここぞとばかりに嫁に頼み込み、コロナ禍のどさくさの中バイクをゲットすることができました！

乗ってみて、三密を避けるという以外にもストレスを発散することが出来る効果がありました。自粛生活を送る中にも今だから出来る愉しみ、新しい愉しみを見つめることができたのは良かった点です。

これからも感染リスクを抑え、事故を起こして病院の世話にならないよう、安全運転で過ごしたいと思えます。(福田三商 高橋)



新しいコロナ禍での過ごし方

新しい生活様式を、受け入れなくては行けなくなつた世界と、ようやく折り合いがつけられるようになってきました。オンライン会議が増えたことにより、移動時間

が無くなったことで、自分の時間を作ることができるようになり、家族と過ごせる時間が増えました。二歳の息子に「急いで！」と言わなくてよくなったことで、彼の挑戦を応援し、じっくり成長を見届けられた時間は家族の財産になりました。

SNSは、外出自粛で、誰も更新をしなくなつてしまったため、あまり見ることがなくなりました。唯一見ていたのは、Instagramでした。世界中のインスタグラマーの動画を参考に、どうせ誰にも会わないだろう・・・ということ、自分でぼつさり髪を切つてみたり、音楽理論の再確認、日本人が間違つて使いがちな日常英語、子育て日記から掃除のライフハックまで。今までのような生活に戻つてほしい気持ちもありますが、もう戻れないと切り替えたほうがいいのかと考えるとしまいます。新型コロナウイルスが蔓延していなかったとしても、AIが普及して生活様式、働き方は大きく変わつていたのかもしれない。これから世界は柔軟に新しい形や、やり方を受け入れていく必要があるように感じます。それでも、飲み会とかやりたいで古いやり方も残していきたいです。(MK)

リサイクル掲示板

古紙は増えている??

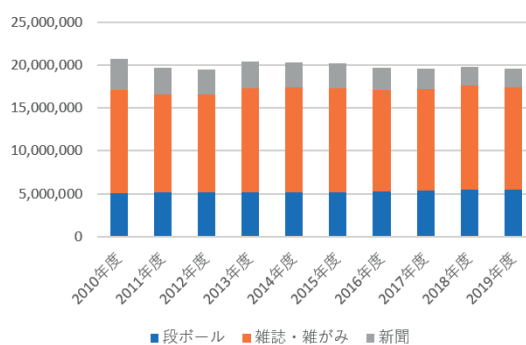
新聞や雑誌の発行部数の減少、ペーパーレス化の進行により、古紙の発生は減っている、と皆様思っていますか？ある意味その通りなのですが、別の角度から見れば、逆に量は増えていると言えます。はて？一体どういうことなのでしょう？（なお、以下の数字は、組合の持っているデータを基に、一般的な古紙の比重換算に構成比を加味して独自に計算したものです。）

①この10年で、古紙の回収量（重量）は5%減少

した

私たち東多摩再資協の事業範囲である多摩六都5市（東村山市、小平市、西東京市、東久留米市、清瀬市）の行政回収による古紙の回収量は重量ベースでは2010年度と比べ、2019年度は1,060ト、およそ5%減少しました。これは、新聞の回収量が40%減ったことと、雑誌・雑がみの中でも雑誌の発行部数がこの10年で30%ほど減少したことが大きく影響しています。

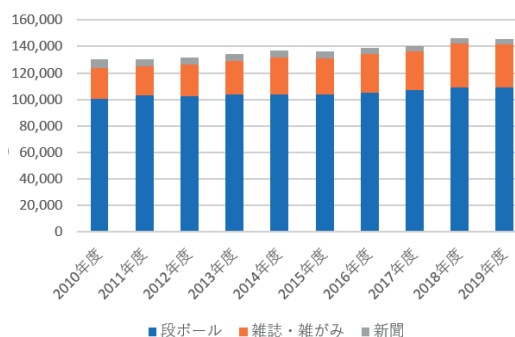
古紙の回収量推移（重量ベース）



②この10年で、古紙の回収量（容積）は12%増加した

一方で、かさばる段ボールの回収量は、ネット通販の浸透などにより家庭からの排出が増えた結果、この10年で9%ほど増えています。また、先ほど雑誌が30%減ったという話をしましたが、雑誌・雑がみの総量は1%程度しか減っていません。これは、雑誌の代わりに雑がみが増えたことを意味しています。2010年には雑誌と雑がみの構成比は6：4でしたが、この10年で逆転し、4：6になったと考えられます。これにより、雑誌・雑がみの比重は7割減って、1.4倍かさばるようになりました。こうして、容積で考えると、古紙の回収量はこの10年で12%増加したことになります。

古紙の回収量推移（容積ベース）



③なるべくかさばらないように出して下さい

当然ですが、皆様のご家庭から出す古紙も、10年前よりかさばるものが増えたと言えます。マンションなどの集合住宅の資源物置き場も、以前より段ボールや雑がみが増えた分狭くなっているようで、管理人さんが整理整頓する作業が以前より増えていると聞いています。

また、私たちの回収車両は、ごみの収集と違い、古紙3品（新聞、雑誌・雑がみ、段ボール）と古布という4品目を同時に回収していますので、1品しか積めないパッカー車ではなく、普通のトラックで回収を行っている場合が多いので、かさが増えるとその分、集めるのも大変になります。

そこで皆様をお願いします。かさばる原因は、主に段ボール、雑がみ、古布です。段ボールは、ただで縛って出して下さい。雑がみは、紙箱、紙管などを潰して、紙袋に入れて出して下さい。古布は、衣替えなどで一度にまとめて出されるケースが多いと思いますが、出来れば分散して少しずつ出すようにお願いします。



各市イベントの開催状況

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、人が集まり、密になる可能性が高いため、各市で予定されていたリサイクルイベントが軒並み中止になりました。毎年受け入れを行っている中学生の職場体験学習や小学生のお仕事体験イベントなども中止になってしまいました。

そのような中でも、毎年小平市中央公園で開催していた小平市環境フェスティバルが、『小平環境デー』として、九月五日に三密を避け、感染対策をした上で開催されました。

また、『東村山市リサイクルフェア』は、本年当組合が実行委員長の順番になっており、何度か実行委員会で協議を重ねた結果、開催場所と形を変えて開催することになりました。例年は秋水園内で開催しておりますが、本年は東村山市役所いきいきプラザロビーにて、パネル展示を中心に開催することになりました。フリーマーケットや飲食ブースなどは、三密を避けるために行わないことになりました。令和二年十月十九日(月)と二三日(金)開催ですので、報告は次号で改めてさせていただきます。

なお、『リサイクルきやらばん』に初参加の福田三商高棟さんから参加報告をして頂きます。

●Rきやらばんに参加して

去る七月十五日(水)、小平市東部公園にて『小平市リサイクルき

やらばん』が行われました。

牛乳パック、使わなくなったおもちゃ、ぬいぐるみの無料回収を行い、リサイクルとリユースの啓蒙活動を通じて、市民の皆様と交流を図ることができました。

今回、イベントには初参加させていただきましたが、雨天にもかかわらずリサイクルの活動に協力していただける市民のかたがいることに感謝を受けました。(福田三商 高棟)

故 藤本俊光相談役を偲んで



故藤本俊光様のご霊前に謹んでお別れの言葉を捧げます

ご養生されて以来ご家族の手厚いご看護のもと穏やかに過ごしてお聞きしておりましたが、突然の訃報に接したただ痛恨の極みであります

顧みますと藤本さんには、高売の一から教わり、さらにご自身の体験や理念そして業界の歴史や今後の課題まで機を見て色々とお諭しして頂きました

十六歳で単身満州へ渡られ大連鉄道学院本科生となり、以後南満州鉄道社員として努められたと伺いました

昭和二〇年六月終戦直前に召集されて現地の歩兵部隊通信隊に入隊し、その後シベリヤに抑留されたとの事でした

あの極寒の地での耐え難い4年間を「シベリヤに留学してきた」と表現されて、人生の貴重な経験と勉強をさせて貰ったと明るく感謝しておられました帰国

後のご心労も数知れず、昭和三二年上京して資源回収業の修業を積まれ、同四二年東久留米市の現在地に(株)藤本チエーンを創業されました。藤本チエーンは、資源業界を激変させる画期的な大規模経営を行い、ピンク色の資源回収車が東京や近隣県をも多数駆け巡り、当時の業界紙でも大きく取り上げられました

やがて業界の重鎮として東京都資源回収事業協同組合の理事・同田舎支部長、東多摩再資源化事業協同組合の副理事長・同相談役などを歴任されました。特に東久留米市の資源循環街づくりには人生をかけて貢献され、地元商店会の会長も務め、児童教育にも献身的に努められて天寿を全うされました。組合員一同貴兄の残された数々のご功績を教訓として、地域リサイクル事業をさらに発展させるべく全力を尽くすことをお誓い申し上げます。永年に亘り公私共々お世話になり誠に有難うございました

衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

令和二年七月二四日

合掌

東多摩再資源化事業協同組合

顧問 紺野武郎

新型コロナウイルス感染拡大防止
ステッカーの取り組みを推進

当組合では、東京都からの要請を受け、組合本部並びに組合員各社において、東京都の定める新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた全業種共通ガイドラインに則り対策を行うことで、ステッカーの掲示を行っております。

従業員だけでなく、お客様にもご協力頂き、消毒やマスク着用の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保、換気の徹底などの対策をしています。



各社、入り口の目立つところに掲示していただきます。感染拡大防止にご協力をお願いします。

東資協業務委員長に福田理事

東京都資源回収事業協同組合では、今年改選期を迎え、当組合の福田理事が業務委員長に就任することになりました。

コロナ禍において、ほとんどの理事や委員長などの役職が留任になりましたが、業務委員長を兼任していた鰐淵副理事長から委員長職を引き継ぐ形になりました。な



福田理事は、東資協業務委員長に就任しました。

また、当組合吉浦理事長は日資連総務委員長、東資協理事相談役、

吉浦亜矢子青年部副部長は東資協財務委員会福利厚生部会長を引き続き留任することになりました。

東資協もコロナの影響で、リモート会議が主流になるなど、これまでとは違う形での活動になりますが、資源業界の向上のために尽力していきたいと考えております。

行事・行動

【六月】

- 三日：東村山市RF実行委員会
- 五日：財務委員会
- 六日：日資連青年部総会(WEB)
- 八日：東資協理事会(WEB)
- 十一日：定例理事会(WEB会議)
- 十二日：小平RC関連JV会議
- 十七日：業務・集団回収委員会(WEB)
- 二十日：日資連総会(書面決議)
- 二十五日：広報委員会
- ：小平RC責任者会議
- 二十八日：東村山市集団回収団体意見交換会

【七月】

- 一日：共同受注検査(東村山市)
- 六日：共同受注検査(東村山市)
- 八日：共同受注検査(東村山市)
- 東資協理事会(WEB)
- 十日：財務委員会
- 定例理事会(WEB会議)
- 十五日：小平市リサイクルきやらばん
- 東村山市RF実行委員会
- 十七日：業務・集団回収委員会(WEB)
- ：東村山市廃棄物減量審
- 十八日：日資連理事会(書面決議)
- 二十日：ISO審査(二日まで)
- 二十八日：小平市廃棄物減量審
- 二十九日：小平RC責任者会議
- ：東村山市業者連絡会議(書面)

【八月】

- 五日：小平RC臨時JV会議(WEB)
- 七日：東資協理事会(WEB)
- 十一日：古紙持ち去り問題意見交換会
- 定例理事会(WEB会議)
- 十七日：西東京市廃棄物減量審
- 十八日：小平RC関連JV会議
- 十九日：東村山市RF実行委員会
- ：業務・集団回収委員会(WEB)
- ：広報委員会(WEB)
- ：東リ協理事会(WEB)
- 二五日：青年部会議(WEB会議)
- 三一日：東村山市廃棄物減量審

【九月】

- 五日：こだいら環境デー

編集後記

- 七日：小平RC責任者会議
- 八日：東資協理事会(WEB)
- 十一日：財務委員会
- 定例理事会(WEB会議)
- 十五日：小平RC関連JV会議(WEB)
- 十八日：業務・集団回収委員会(WEB)
- 広報委員会(WEB)
- 十九日：日資連理事会(WEB)
- 三〇日：東村山市廃棄物減量審
- ：東村山市業者連絡会議(書面)
- ：東村山市RF実行委員会

編集後記

直言拝聴をご寄稿頂きました上村さん、ありがとうございます。減量審、リサイクルショップ、自治会などを通して、本当に熱心に環境問題に取り組んでおられ、またSNSでも積極的に発信をされているのをいつも拝見させて頂いております。市民の皆様の視点というのは業界にとって非常に貴重ですので、活動に生かしていきたいと思っております。

さて、各種イベントや事業の中止が相次ぐ中で、市民・行政・事業者の皆様への発信ツールとして広報誌の果たす役割は大きいと自負しています。記事のネタになるイベントがないので実のところ編集作業はなかなか大変ですが、リサイクルの現場最前線の声をどんどん発信していきます。(TKO)